

FUJIMANIAレポ

鉄道模型まつり  と同時開催

第1回講座開催（R7.8.3）

「出発進行！わくわくイベントの伝え方」

講師：最所 美由紀 さん（ぶんぶんテレビアナウンサー）

ぶんぶんテレビ

H4開局。視聴エリアは佐賀市・神埼市・小城市・吉野ヶ里町の一部。
今年の夏は高校野球佐賀大会の全試合を中継し話題に 



／富士町がすき／

『富士町のことを発信することでまちに人を呼び込みたい！』の想いの実現に向け、佐賀市・富士公民館・アバンセの三者共同企画で「富士発信計画進行中」の講座がスタートしました

／番組を見てもらうために／

①情報の受け手（視聴者）のニーズを知る

どんな番組・コーナーが好きか、何の情報を欲しているのか、視聴者の意見を番組制作に役立てている。常に視聴者の欲していることに耳を傾けることが大事。

②いろんな手段で番組のPRをする

番組は作っても見てもらわないと何にもならない。CMやラジオの他に、SNSは毎日更新して番組のPRをしている。SNSはいいねが多いと比例して視聴率が高くなる。

チラシも作成し配布しています



こんな風に情報を出してみよう！というヒント

- ・良いところと良いところを合わせてPRを！
- ・この情報をどんな人に届けたいのか、ターゲットを明確に！
- ・マスメディアに人脈を持つことは効果的◎



様々な伝手を持つ住民が力を合わせる

- ・テレビでのPRは**2週間前**がおすすめ
- ・毎年の行事では「今回ここが目玉！」と強調を
- ・リリースは目を引く見出し！とにかく記者に興味を持たせることが重要！



↑講座の様子

質疑応答の時間→

みなさん積極的に質問や相談をされていました



←取材の見学中

取材のポイントを実際に見学しながら学びました



発信力に差がつく！？
+1ステップ



災害復興（被災）の情報の出し方について

「大変だった」「辛かった」で終わらない情報の出し方ができるといいのでは。マイナスなことだけだと受け取られず、スルーされてしまうことも…。

『みんなで頑張ってる今はここまで復興してる』といういい知らせを乗せて出していった方が、見ている人にとっても希望になるのではないだろうか。

富士公民館 池田館長の提案

ぜひみなさんも考えてみてください

参加者の声（抜粋）

- ・撮影の場面から講師の話まで非常に参考になった。また、講師とのつながりができてよかった。
- ・対話型の研修がよかった。尋ねたいことを他の人が質問してくれたりして、研修ができたのがよかった。
- ・地域の方々が自分たちの住むところを盛り上げたいという気持ちが伝わりました。

サガテレビ

次回(第2回)のご案内



「テレビ報道のプロが伝える 富士よかとこ発信のキホン」
10月8日(水) 18:30～20:00 会場：富士公民館 研修室
講師は、株式会社サガテレビの峰松 輝文 さんです。

フジマニアレポ

Vol. 1 * R7.9.18発行

令和7年度地域未来おうえん講座